

第1・2学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主 題 たいせつな ともだち

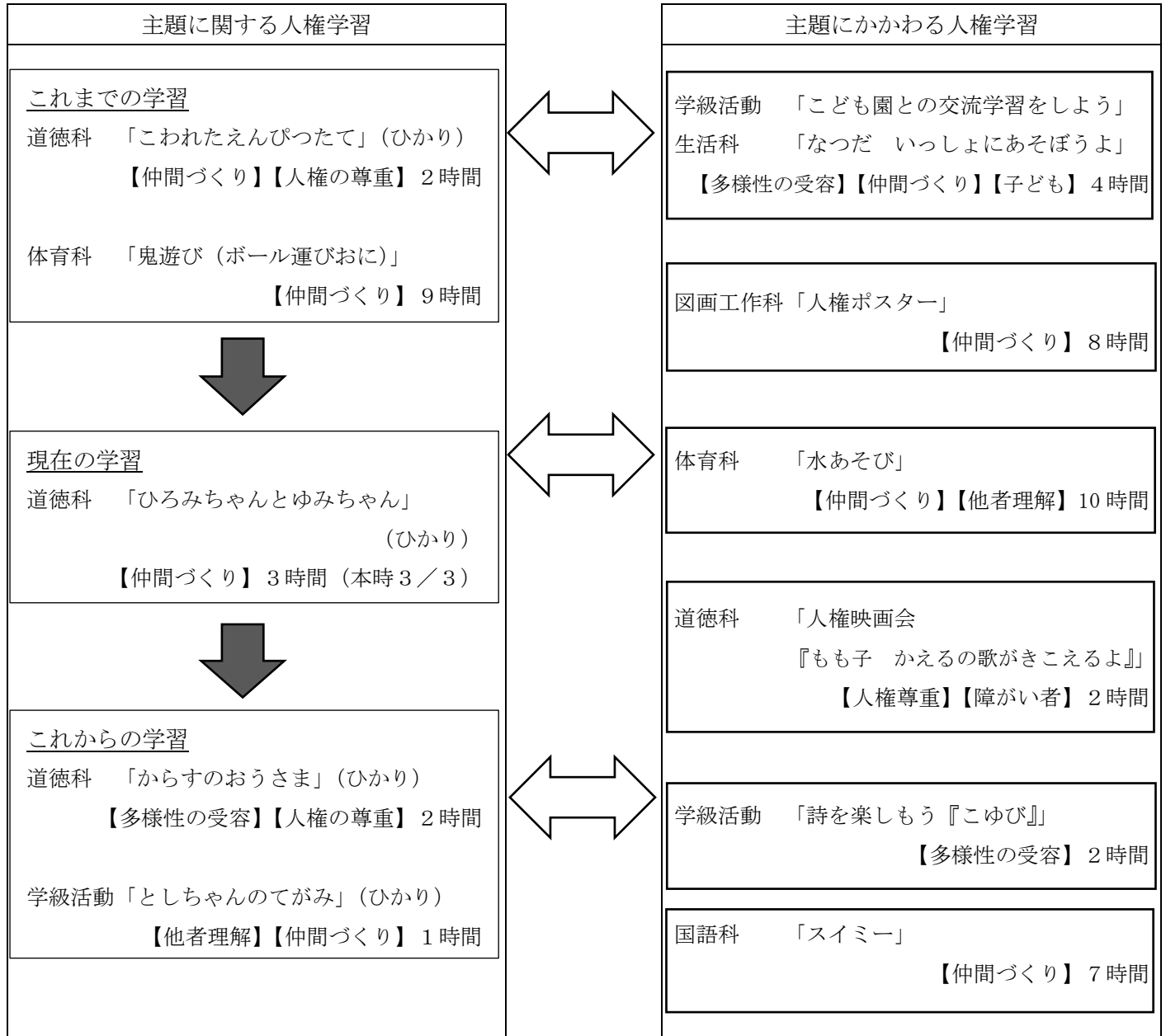
2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

相手の願いや思いを受け止め、友達の気持ちを考えて行動することの大切さに気付き、共に支え合っていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

【 】 普遍的な学習のテーマ・個別人権課題名



主 題 を 支 え る 常 時 活 動			
<p><u>きらっとさん</u></p> <p>友達のよい行動や頑張りを紹介合うことで、友達のよさを認め合うとともに、友達を大切にしようとする心を育てる。</p>	<p><u>当番・係活動</u></p> <p>友達と協力しながら学級のために働くを通して、自己有用感を高める。</p>	<p><u>もんすぎ班活動</u></p> <p>様々な異学年活動を通して、友達の新たな一面を知るとともに、力を合わせる大切さに気付くことができるようにする。</p>	<p><u>今日のがんばったこと</u></p> <p>毎日、帰りの会で自分自身の1日の頑張りを振り返ることで、自己肯定感を高めたり、自己の成長に気付かせたりする。</p>

5 本時の学習

(1) 目 標

悪口を我慢しながらも練習を続けた「わたし」を励ました友達の姿から、友達を大切にすることのすばらしさに共感し、これからの生活の中で仲よく助け合って生活していこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値

B－(9) 友情, 信頼

(2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

(3) 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時までの学習を振り返り、前半の「わたし」の気持ちに共感させる。	○悪口を言われた悔しさや辛さと、それでもやめずに我慢しながら何度も練習している「わたし」の強い願いに気付かせる。
わたしが なんかいも なんかいも	れんしゅうできたのは なぜだろう。
2 前半と後半を比べ、変わったもの、変わらないものを考える。	○前半と後半を比べ、周りの支えが大切であり、本当に困っている友達に寄り添い、自ら行動することができるすばらしさに気付かせる。(発表・態度) ①
3 遠くから見ていた「あの二人の男の子たち」の気持ちを考える。	○「わたし」の気持ちも考えずに、悪口を言ってしまった後悔に気付かせ、二人の男子の変容についてこれまでの自分と重ね合わせながら考えさせる。(あの二人が決して特別な存在ではないことに気付かせる。)
4 自分たちの生活を振り返り、本時のまとめをする。	○これまでの学習を振り返り、自分もひろみちゃんやゆみちゃんのように、友達と助け合って生活していこうとする意欲を高める。(ワークシート・発表) ②

(4) 評 価

・周りの支えや連帯が大切であることが分かり、本当に困っている友達に、自ら手を差し伸べられるすばらしさに気付いたか。 【知識的側面】 ①

・これからの生活の中で仲よく助け合って生活していこうとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】 ②